

令和2年度 1学期の終わりに

6月1日から学校が再開されて、今日で48日めです。「友達と遊ぶこと」「勉強すること」「班で給食を食べること」あたりまえだと思ってやっていたことが、あたりまえでなくなり、あたりまえであった生活がどんなに大切であったか、みなさんは感じた48日間でしたね。そんな中で、浅井北小学校のみんなが自分で考え、自分のためだけでなく、周りのみんなのために行動している姿をたくさん見ることができました。6月3日の日に新聞社の方が取材に見えましたが、みんなが協力して手洗いや三密を避けるよう心がけている姿に感心してみえました。また、児童会や委員会活動では、みんなのためにできることを考え、工夫して行ってくれました。とても立派でしたね。一人一人の小さな思いやりが、学校全体に広がって大きなやさしさとなることを、先生はとてもうれしく思っていました。

さて、明日から23日まで夏休みです。新型コロナウイルスから、みんなの大切な命を守るために、どうしてもしないといけない用事がなければ外に出ない、手をしっかり洗うなど病気にかからないようにするための小さな思いやりを続けてください。先生が4月にもお話した、みんなならできる、3つのお願いをもう一度言います。さあ、覚えているかな。

1つめ あいさつで家族みんなの心をつなげましょう。先生が特に言ってほしい言葉は何だったかな？答えは「ありがとう」です。「ありがとう」はみんなが幸せになる言葉です。おうちの方はみんなのためにお仕事に出かけ、おうちのことをしてくれています。外では、お店の店員さん、配達をしてくれる人、病院の人、たくさん働く人が生活を支えてくれています。そうした人たちにも、態度で「ありがとう」の気持ちを伝えましょう。

2つめ やさしいひとになりましょう。病気にかかったことのない人はいますか？いませんね。では、病気にかかることは悪いことですか。ちがいますね。困っている人、自分と違う人を仲間はずれにしたり、本当かどうかわからないうわさを言いふらしたり、悪口をいうことはいじめです。自分がされて、言われて嫌なことは人にはしなさい。あいての気持ちを考えて、「やさしいことば」でお話をし、「やさしい心」で、困っていたり、悲しんでいたりする人を思いやりましょう。

3つめ。自分のことは自分でできる子になりましょう。ひとりひとりがしっかり考えて行動することは、自分だけではなく、まわりの命を大切にすることにもつながります。

昨日は日本に住む私たちにとって忘れてはならない日でした。今から75年前のきのう、8月6日午前8時15分、広島に原子爆弾が落とされ、たくさんの方が亡くなりました。あたりまえのように始まるはずだった1日が、一瞬にしてなくなってしまったのです。どんなに悲しくて、つらかったことでしょうか。私たちは、自分の命だけではなく、周りの人の命も大切にするためには、何をしていたらいいのか、これからもしっかり考えていかねばなりません。今まで通り、休み中も、お互いすこしがまんをし、ゆずりあい、協力して生活していきましょう。皆さんなら、きっとできます。笑顔でまた24日に会いましょう。

